

えたじま暮らし応援クーポンをまだ受け取れていない方へ

図 商工観光課 ☎0823-43-1632

「えたじま暮らし応援クーポン（商品券）」のゆうパックによる配送は完了いたしましたが、ご不在（入院・施設入所など）や宛所不明などの理由により、多くの商品券が市役所へ返送されています。少しでも多くの対象者にお受け取りいただきたいため、まだ受け取られていない方は、市役所本庁までお越しください。

受取場所 江田島市役所本庁2階 商工観光課窓口

受取時間 平日午前9時～午後5時（※土・日・祝日は除く）

受取期限（使用期限） 10月31日(土)まで

※受け取りに関する重要なお願（原則と代理受取について）

商品券の受け取りは、原則として受給対象者（世帯主）ご本人様に限ります。ただし、ご本人の来庁が難しい場合は、代理人による受け取りも可能です。代理受取には委任状が必要となりますのでご注意ください。

持参するもの

- ・受け取りに来る方の本人確認書類
- ・印鑑
- ・委任状 ※世帯主以外の世帯員、または代理人が来庁される場合のみ必須



▲市ホームページ

江田島市での起業や新たなチャレンジを検討している事業者の皆さまへ がんばりすと応援事業補助金第2回審査会申請を受け付けています！ 【8月31日(月)締切】

図 商工観光課 ☎0823-43-1632

1 補助金の種類

	内容
起業支援補助	市内で新規開業や異業種参入等、本市の特色を活かした事業を新たに開始するための活動を支援します。 上限額 100 万円（補助対象経費の2分の1以内）
チャレンジ支援補助	市内で新商品又は観光メニューの開発に取り組むための活動を支援します。 上限額 5 0 万円（補助対象経費の2分の1以内）

※新規開業の場合、開業届や法人設立届の提出前に市までご相談ください。

※江田島市商工会が実施する創業塾又はその他の団体が実施する特定創業支援等事業を受講することが必須条件です。

2 補助対象経費

	内容
起業支援補助	施設整備費・備品・什器等購入費、販路拡大に係る委託料
チャレンジ支援補助	新商品開発に係る委託料又は備品・什器等購入費 観光メニュー開発に係る施設整備費、委託料及び備品・什器等購入費

※ 備品等については、固定資産台帳に登録するものに限り、特に汎用性の高い備品等（パソコン、自動車、カメラ等）は対象外です。

3 審査会の実施予定時期

	審査会実施予定日	申請（エントリー）受付期限
令和8年度第2回目	10月上旬頃	8月31日(月)まで

4 審査会の方式

審査委員会を設置し、複数の審査委員により審査の上、採択します。

	審査方式
起業支援補助	プレゼンテーション
チャレンジ支援補助	書類審査のみ



◀申請書類や制度の詳細はこちら

『はくい農業委員会です』 ～人とのつながり、楽しみながら農業を～

vol.9

図 農業委員会事務局
☎0823-43-1645

市農業委員会は農業委員9名・農地利用最適化推進委員14名で構成され、農業振興のため、農地利用の最適化活動を行っています。農業委員会における委員の活動を広く市民の皆様にご覧いただくために、インタビュー形式で掲載します。第9回目は、室元文雄委員（70歳）です。

室元委員は、江田島市の元職員です。在職中は企業局交通課長や沖美市民センター長などを歴任し、行政の道一筋に42年間勤め上げました。そんな室元委員が農業を本格的に始めたのは、定年退職後のことです。きっかけは、ご両親が長年耕作されていた柑橘畑の手伝いでした。「農業をやりたいかったわけじゃないけど、親が残してくれた畑じゃけん荒らすのは辛いんよ。」と室元委員。

当初は柑橘類の栽培が中心でしたが、近所の人に野菜作りを教わったことで栽培の幅が広がっていきましました。その中でも、予想以上の収穫があったベビーリーフは、産直市場へ出荷するようになります。

現在、みかんやレモン、フィンガーライムなどの柑橘類をはじめ、トウモロコシ、スイカ、生姜など、さまざまな果樹や野菜を栽培しています。「人とのつながりで農業の幅が広がった。」と話す室元委員。



▲室元委員とお孫さんの結奈さん

『はくい農業委員会です』 江田島小学校3年生が社会見学 ～見て、聞いて、学んだ、花づくり～

番外編

図 農業委員会事務局
☎0823-43-1645

7月2日(木)に江田島小学校の3年生が社会見学のため、農業委員の村上浩司委員が営む「村上農園」のハウスを訪れました。ほとんどの児童にとって、ハウスの中に並ぶ色鮮やかな鉢花を見るのは初めての体験です。児童は次々に手を挙げ、村上委員にたくさん質問を投げかけました。

「ハウスは何年くらい持つのですか。」「花には1日に何リットルの水が必要なのですか。」「という質問に対し、村上委員は「ガラス製のハウスだから長く使えるよ。」「花には毎日、1,000〇〇2,000リットルの水が必要なんだよ。」「と、分かりやすく説明していました。また「農業を辞めたいと思ったことはないですか。」「という問いに

「農業を辞めたいと思ったことはないです。」「という問いに



▲村上さんから説明を聞くこどもたち



▲鉢花を選ぶ様子



▲枯れた花を取り除く作業を体験